

保 和

平成28年が始まりました。今年もよろしくお願ひします。

平成28年1月12日

栃木市立家中小学校 TEL 27-2367

新年明けましておめでとうございます

平成28年が始まりました。皆様方にはよい新年をお迎えになったと思います。また、新しい年を迎えるに当たって大きな夢や願ひ事、誓ひ等を心にもった方も多いことでしょう。やはり、新年を迎えるということは物事の始まり、区切りという特別な気持ちになるものです。家中小学校の教職員一同、心も新たに子どもたちの教育に取り組んでいきたいと考えています。

本年もどうぞよろしくお願ひします。



始業式では

13日間の冬休みが終わり、子どもたちの元気な歓声が学校に戻ってきました。子どもたちが、健康で元気に冬休みを過ごしてきたということで、大変嬉しく思います。

始業式では、6年勝未来さんと1年大八木來奏さんが、子どもたちを代表して新年を迎えるに当たっての誓ひを発表してくれました。きっと、

家中小学校全員の「新年の誓ひ」も、代表の人と同じように、夢と希望に溢れ新たな決意に満ちていることでしょう。

3学期は、学年によっても違いますが授業日数は約50日です。短い期間ではありますが、卒業や進級に向けての大切なステップの時期となります。それぞれの夢の実現に向けて、子どもたち一人一人をたくさん励ましていきたいと思ひます。

ところで、始業式の校長講話では、日本

の古典芸能の師弟関係で言われる「守（しゅ）・破（は）・離（り）」の話をしました。「守」は先生の教えをしっかりと聞き学ぶ段階、「破」は学んだことを基に応用する段階、「離」はそこに創意を加え自分独自のものを追究する段階ということです。今、教育界では「アクティブラーニング」という言葉が話題ですが「何を知ってるかだけではなく何ができるかが問われる時代」だと言われており、「実際にやってみて考える・分かりやすく情報をまとめ直す」等の活動をもっと授業に取り入れるべきだという流れになっています。このことも大切ですが、この考えは「何を知ってるか」ということが前提となっている、すなわち「守」の考えである「先生の教えをしっかりと聞き学ぶこと」が学びの中でまず大切だと思ひます。ですから授業では、まず「先生の話を一言も漏らさずに聞くこと」を確実にやってほしいと子どもたちに話しました。その上で「意見を出し合って考えたり応用したりすること」「自分が考えた方法で学びを進めること」等のことを授業にバランスよく取り入れてほしいと先生方にもお願ひしました。

新年早々堅い話になってしまったのですが、しっかりとした学び方を身に付けた家中小学校の子もたち全員が、さらに学びに目覚めてほしいと願っています。



そして、式後に転入生を紹介しました。5年高橋陽太さん、4年高橋悠大さん兄弟です。平成25年度まで本校に在籍していた二人なので、すぐに本校に溶け込んでくれると思ひます。

新年の抱負・3学期のめあてを聞きました

子どもたちの決意をお読みください。

- 今年は漢字練習や縄跳びの前綾跳びを頑張りたいです。そして、早寝早起きもできるようにします。1年 刑部 碧伊
- たくさんの友達と仲良くすることと、毎日の勉強を頑張ることを今年のためめにしました。2年 大塚 充
- 縄跳びや鉄棒などの運動を頑張ることと、自主学習と挨拶をしっかりとやることをめあてにしました。3年 本島 帆花
- 運動では縄跳び、勉強では算数、健康では元気で風邪を引かないこと。この3つを頑張ります。4年 富澤 凜太
- これから最高学年の6年生になるので、低学年や中学年の子に信頼される6年生になりたいです。5年 高橋 陽太
- 今年は、いやなことを後回しにしないで、すぐに行動できるようにするというめあてを立てました。6年 青木 颯汰

刑部人先生の絵を紹介しました

校長講話の2つ目の話題として、郷土の偉人である画家「刑部人先生」の作品である「故郷の早春」のことを紹介しました。この作品は、校長室に掲げられていますが、刑部人先生と同級生の本校大正7年卒業生の皆さんが、先生にお願いして描いていただき、学校にご寄付くださったものだそうです。着任以来、子どもたちに向けてこの素晴らしい絵の紹介をしたいと考えていたのですが、画題を考え今回行ったわけです。

昨年末に6年生を引率して栃木県立美術館の「アートクルーズ」を体験してきましたが、ここにも先生の作品が展示されていました。学芸員の先生からは、県立美術館には刑部人先生の作品がそのほかにもたくさん所蔵してあること、特に家中小学校の子どもたちには大先輩である刑部人先生のことをよく知ってもらいたいというお話も

いただきました。

この話をしながら、刑部人先生のことを知っている子どもがいることが分かり、さすが家中小学校の子どもたちだと頼もしく思ったところです。ご家庭でも郷土の偉人「刑部人先生」について話題にさせていただきながら、先人が育てた文化やそのための努力について考えたり、自分自身が大きな夢を持つことの大切さに気づいたりしてくれると嬉しいです。



終業式では

昨年末の終業式では、私の方から「挨拶ができる子が増えてきたこと」「たくましい心が育ってきたこと」等について話すと共に、お正月に新しい1年のめあてを立ててほしいことを伝えました。みんな立派なめあてを決めてくれていると思います。また、2年富澤夏蓮さんと4年柏崎真琴さんが、1年のまとめや新しい年への期待を全校児童の前で上手に話すことができました。

夜空を見上げてみませんか PARTIII

先月号でお知らせした「オリオン座」は見つかりましたか。この星座は、これから夕方から見られるようになります。是非、見つけてみてください。

ところで、今月は、月の満ち欠けもよく見られます。10日(日)が新月です。そして、13日(水)には三日月、17日(日)には半月、24日(日)には満月が見られます。月の満ち欠けと見える方位は4年生理科で学習する内容ですが、全国的に見ても定着度があまり高くない内容です。自分の家の回りで月を見ることは、実感を伴った理解に近付くと思います。どうぞ、新春の月の変化をお楽しみください。